

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212S201	小児看護学概論 ( Introduction to Child Health Nursing )	専門教育科目 小児看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	金・2	幸松美智子・江藤千晴 内線： 5075 E-mail：yukimats@

#### 【授業の概要・到達目標】

子どもと家族がおかれている現状と健康上の問題、子どもと家族の健康を守るための法律・制度とその課題を理解し、子どもの権利擁護に対する専門職者としての姿勢と役割、小児看護学が果たすべき責務について学ぶ

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 小児看護の目的と対象、役割について説明することができる	○			○			○
2. 子ども観の歴史の変遷や医療における子ども観の問題を通して、自己の子ども観を洞察することができる	○			○			○
3. 小児と養育期の家族の成長・発達上の特徴や生じやすい健康問題を説明することができる	○		○	○	○		○
4. 小児期におけるヘルスプロモーション能力の育成の重要性と現状の課題を理解し、解決に向けた方策について説明することができる	○		○	○	○		○
5. 子どもの権利条約を通して子どもの権利の現状と課題について述べるができる	○			○		○	○
6. 子どもの権利擁護と健全育成のために社会の中で果たすべき看護職者の役割を述べるができる	○			○		○	○

#### 【授業の内容】

1	小児看護学とは
2	子ども観の歴史の変遷と子どもの権利を擁護する小児看護学が果たすべき役割
3～5	子どもと養育期にある家族の健康の現状と課題
6	子どもと養育期にある家族を守る法律や制度、施策と看護職の責務
7～8	子どもの成長と発達

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト・アクションレポート	・動画や実践事例を用い、小児についての理解を深め、小児看護のイメージを拡げる ・学生が意見を述べる機会を設ける
B：意見の表現・交換	○	発問、グループ検討、アクションレポート	
C：応用志向	○	課題レポート	
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	次回の講義内容について、事前に配布するアクションレポートで予習する。(8h)
事後学修	授業で学習した内容に関連したアクションレポートを用いて授業の復習をする。(8h)

#### 【教科書】

中野綾美【編】：ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護 小児看護学①、メディカ出版、2022年  
 中野綾美(編)：ナーシンググラフィカ 小児看護技術 小児看護学②、メディカ出版、2022年

#### 【参考書】

その都度提示する

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6
アクションレポート・課題レポート	20	○	○	○	○	○	○
期末試験	80	○		○	○	○	○

【注意事項】 講義で配布されるアクションレポートは次の週の月曜日 17時までに提出する

#### 【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		幸松美智子（看護師） 江藤千晴（看護師・助産師）
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		実際に臨床で起こっている問題を用いながら、小児看護学の責務や小看護職の児保健の課題への取り組みを考える機会を与える
授業形態		